

【参考資料】 平成20年度 実績報告（樺森林づくりプロジェクト共同体）

作成日：平成21年4月28日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	90ha	11ha	12.2%	H21予定：125ha	人工林：施業同意レベル 天然林：長期受委託レベル
いつ	4月～3月	4月～3月		年間を通じて森林所有者に対する働きかけを行うが、間伐等本格施業前の春～夏を強化期間とする。森林組合職員及び森林組合任命の森林整備普及員による森林所有者への働きかけを強化する。組合広報誌や総代会資料に掲載してプロジェクトのPRを行う。個別訪問以外に現地説明会を開催して施業集約化を推進する。	
誰が	施業集約化担当：大西一暢（森林組合）	施業集約化担当：大西一暢（森林組合）			
どういつ方法で	広報誌への掲載 個別訪問 現地説明会	広報誌への掲載 個別訪問 現地説明会			

植栽	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	10ha	4ha	40.0%	H21予定：15ha	
いつ	10月、3月	10月		適期に植え付けを行う。 岐阜中央森林組合 環境林は地域に自生する広葉樹を植栽し、針広混交林化を図る。生産林は伐採跡地にスギ・ヒノキを植栽する。	
誰が	森林整備担当：田中政成（森林組合）	森林整備担当：田中政成（森林組合）			
どういつ方法で	環境林は広葉樹、生産林はスギ・ヒノキを植栽	環境林は広葉樹、生産林はスギ・ヒノキを植栽			

下刈・除伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	20ha	1ha	5.0%	H21予定：30ha	
いつ	7月～9月	7月～9月		下刈は夏期、除伐は適期に行う。 岐阜中央森林組合 下刈、雪止しは植栽の年から5年間毎年実施する。	
誰が	森林整備担当：田中政成（森林組合）	森林整備担当：田中政成（森林組合）			
どういつ方法で	適期に実施し植栽木の生長を促進	適期に実施し植栽木の生長を促進			

切捨間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	25ha	5ha	20.0%	H21予定：25ha	
いつ	4月～3月	4月～3月		年間を通じて切捨間伐を行う。 岐阜中央森林組合 若齢林分の生長を促進するため、保育間伐を積極的に行う。	
誰が	森林整備担当：田中政成（森林組合）	森林整備担当：田中政成（森林組合）			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐			

利用間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	50ha	22ha	44.0%	H21予定：65ha	
いつ	4月～3月	4月～3月		梅雨、降雪期間を含めてできる限り年間を通じて素材生産を行う。 極東森林開発㈱ 新規開設した作業道を積極的に活用して利用間伐を行う。	
誰が	素材生産・流通担当：大西勝利（極東森林開発㈱）	素材生産・流通担当：大西勝利（極東森林開発㈱）			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐			

主伐（択伐）	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	—	7ha	—	H21予定：—	
いつ	10月、3月	10月、3月		適期に伐採を行う。 極東森林開発㈱ 森林所有者に対し施業収支を明らかにした森林施業プランを提案し、施業集約化を推進する。	
誰が	素材生産・流通担当：大西勝利（極東森林開発㈱）	素材生産・流通担当：大西勝利（極東森林開発㈱）			
どういつ方法で	長期育成循環施業	長期育成循環施業			

作業道開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m、L=3,500m	W=3.6m、L=5,910m	168.9%	H21 予定: 3,500m(基幹作業路)	開設コスト: 5,120円/m
	W=3.0m、L=2,500m	W=3.0m、L=264m	10.6%	H21 予定: 2,500m(簡易管理路)	" : 3,727円/m
	計 L=6,000m	計 L=6,174m	102.9%		
いつ	4月～3月	4月～3月		梅雨、降雪期間を除き、できる限り年間を通じて開設を行う。	
誰が	路網整備担当: 福島大介(極東森林開発㈱)	路網整備担当: 福島大介(極東森林開発㈱)		極東森林開発㈱	
どういう方法で	設計・施工・管理: 極東森林開発㈱直営	設計・施工・管理: 極東森林開発㈱直営		路網整備と高性能林業機械を組み合わせた素材生産の低コスト化を実現するため、作業道を先行して開設する。	

素材生産				新規チーム設立(H19・H20)		内容	
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)				伐倒、枝払い、玉切り:チェンソー → 木寄せ:グラップル(0.45) → 搬出:フォワーダ(3.5t) → 造材:チェンソー → 積込:グラップル(0.45) → トラック(8t)			
素材生産チームの人員数(人)		実施前 → 実施後 (H19) (H20)		1チーム(3人/班)		2チーム(3人/班)	
実稼働日数(日)				222		280	
素材生産コスト(m ³ ／人・日)				4.50		4.70	
その他							
年間素材生産量	計画	実績	達成率	今後の対応		備考	
モデル団地内	3,000m3	3,697m3	123.2%	H21 予定: 4,000m3		森プロ関係のみ(新規導入機械による素材生産)	
モデル団地外	—	—	—				
合計	3,000m3	3,697m3	123.2%				

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み					
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応		
森林施業プランナーの育成	精算時において森林施業プラン(書式)を用いて森林所有者へ説明を行った。(12人)	森林施業プランの活用(人数)	森林所有者に対し森林施業プランを提案し、施業集約化を推進する。		
プロジェクトの組合員、一般市民に対する周知	・組合広報誌への掲載(1回) ・総会資料への掲載(1回) ・山県市有線テレビで森プロ等のPR(3回の特集番組) ・組合員(財産区役員)を対象に現地説明会を開催(1回) ・椿森プロ見学ツアーの様子をテレビ(NHK)で紹介(1回) 組合員への個別聞き取りで森プロの周知が図られていることを確認できた。	総会時に組合員へ個別聞き取り等(回数)	組合広報誌や総会資料への掲載、モデル林看板を設置して引き続き周知を行う		
椿森林づくりツアー(仮称)の実施【開催名称】 ～森林再生への挑戦～ 椿森林づくりプロジェクト見学ツアー	平成20年11月22日開催。 参加者へのアンケート調査で全員から満足の回答を得た。 添付の実施報告書参照	ツアー参加者に対してアンケート調査を実施	特になし		
森プロスタッフの技術向上を図るための研修会の開催	・森林組合の技術者を極東森林開発㈱が研修生として受け入れて大径木の伐採など林産作業の研修会を開催(2回) ・恵南森林組合の技術者を研修生として受け入れ(2回) ・可茂、白川森プロへの視察研修会を企画し、両者スタッフで意見交換会を開催(1回)	研修実績(回数)	他の森プロと協調して技術向上を図るための合同研修会の開催(他の研修会へ参加)		
作業道管理手法の仕組み構築(森林組合での管理、協力金の徴収)	運営委員会で協力金の徴収金額を決定し森林所有者に説明のうえ徴収した。 森林所有者への説明(12人)	協力金の徴収金額(算出根拠)等の決定、森林所有者への説明(人数)	森林所有者への説明、協力金の徴収		
未整備森林の整備	未整備人工林の間伐(5ha)	未整備人工林の間伐面積	リハビリ施業の実施林分(試験地)の調査を行う		